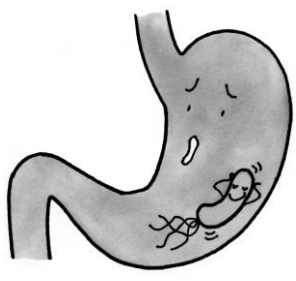


# ピロリ菌の除菌について

## 【ピロリ菌の身体への影響】

ピロリ菌が胃の粘膜に感染すると炎症が起きます。感染が長く続くと、胃粘膜の感染部位は広がっていき、最終的には胃粘膜全体に広がり慢性胃炎となります。この慢性胃炎をヘリコバクター・ピロリ感染胃炎と呼びます。この胃炎が胃潰瘍、十二指腸潰瘍、萎縮性胃炎を引き起こし、その一部は胃がんに進行していきます。ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎



は除菌が成功すると改善します。

## 【除菌について】

当院の除菌では一種類の「胃酸の分泌を抑える薬」と二種類の「抗菌薬」の合計三種類五錠を一日二回、七日間服用して頂きます。その後四週間以上経過してから、ピロリ菌が除菌できたか確認します。

## 【除菌療法の注意点】

確実に除菌するために、指示されたお薬は必ず服用して下さい。自分の判断で途中でやめてしまうと、除菌に失敗する上に治療薬に耐性を持つたピロリ菌が現れることがあります。ご不明な点はスタッフにお問い合わせください。

(看護師 岡崎 博子)

# 十五夜



旧暦の八月一五日

を『十五夜』『中秋の名月』といい、今年のは、九月二七日にあたります。昔、満月のように丸いお月見団子と魔除けの力があるときれるススキを家の廊下にも、お供えていたものでした。

『十五夜』の一番の想い出といえば、

子供の頃、満月の明かりの下で綱引き大会を行っていたことです。その日までに地域の人たちが公民館に集まって、綱引き用の綱を縄で編んでいました。大人の手でもいっぱい、いっぱいの太さの綱だったと思います。それを

## 抱っこ100人計画

私の趣味は写真を撮ることです。と言っても本格的なカメラではなく携帯電話のカメラですが。私には1歳5ヶ月になる娘がいます。

出産した時に「沢山の人に抱っこしてもらいたいよ」と教えてもらい、そこで始めたのが『抱っこ100人計画』家族や友達、よく行く店の店主、近所のおばあちゃん。とにかく色々な人に抱っこしてもらい、撮影を続けました。そして最近やっと100人に到達!!

次に待っているのは現像とアルバムにする作業です。最近では写真屋さんに行かなくても携帯で写真を選択すると、現像して家まで郵送してくれるサービスもあります。大きくなった娘が見返すこと出来るように、きちんとアルバムに残しておきたいと思います。

今の私の様に自分の小さい頃と娘を比べて「そっくりやな」と言ってみたり、両親の若い頃の写真を見て笑ってみたり、祖母の白黒の写真を見て思い出話を聞いたり。といつまでも出来るように写真はずっと大切にしていきたいと思います。

(医療事務 久賀田 めぐみ)



暗くなつてから道路に広げ、子供や大人達が集まって、昼間の仕事の疲れも忘れて一生懸命に綱を引いて、汗をかいて、大声で笑って楽しかったことが懐かしく思い出されます。

火だき(九州地方で正月七日に行う火祭り)の時に、大きな炎とともに燃やしていた記憶がかすかに残っています。

い出しながら、今年は、孫達と団子とススキでお月見を楽しもうかと思っています。(介護福祉士 向谷 真由美)



予約は  
こちらから

電話 : 0799-62-5566 (診療時間内)  
インターネット・携帯電話 : <http://www.ukr.jp/soyama/> (24時間対応)  
\*携帯電話からは右のQRコードからでも予約できます\*

